

「信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。」マタイ 14 : 26~31

信仰とは神のことばを信じることです。「信じる」とは人が言葉と共に立つことです。どんな言葉でしょうか? 「絶対ね!」と約束してもかなわないこともあります。状況が変われば実行できないことがあります。人の言葉は絶対ではありません。「人はみな草のようなもので、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」 I ペテロ 1 : 24、25 神のことばは永遠に変わりません。神が言葉を発せられるとそれは成るのです。

今日の箇所はペテロが弟子たちと一緒にガリラヤ湖で舟に乗っていた時のことです。真夜中波が荒れていました。するとイエス様が湖の上を歩いて彼等の所に来られているではありませんか! 弟子たちは「あれは幽霊だ!」とおびえている時、イエス様のことばがあったのです。「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。」ペテロは「主よ。もし、あなたでしたら、私に、水の上を歩いてここまで来い、とお命じになってください。」と言いました。イエス様は「来なさい。」と言われました。ペテロはこの言葉を信じて「舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。」と記してあります。これがペテロの素晴らしいところです。彼は水の上を歩くという奇跡を体験したのです!! 素晴らしいですね。私たちが単純にペテロのように神のことばを信じて奇跡を見るものとなりましょう。今までもいくつもこのような奇跡を体験した方がおられるでしょう。私もその一人です。言葉が下ればその通りになるのです。

ところが、ペテロはそのまま歩けばよかったのですが、「風を見て、こわくなり、沈みかけて」と記してあります。私たち人間の良くやることです。せっかく神の奇跡を体験しているにもかかわらず、周りの状況を見てしまったのです。「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」ヘブル 12 : 6 私たちはこの失敗をよくしてしまいます。

ものすごい谷間に綱を張ってそこを歩いている人を TV で見かけましたが、彼がよそ見をすると深い谷に落ちてしまいます。私たちの戦いも、主を見ている間はしるしも癒しも奇跡も体験しますが、いったん自分の力を見たり、状況をきよろきよろ見たりすると信仰の綱から落下してしまいます。ペテロもその様でした。しかしペテロは「叫び出し、『主よ』。助けてください。』と言った。」のです。「私の助けはどこから来るのだろうか。私の助けは天地を造られた主からくる。」詩篇 121 : 1、2 からです。

イエス様はすぐに手を伸ばして、ペテロをつかんで言われたのです。「**信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。**」弱いところに働いてくださる主に前もって祈ってゆきましょう。

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven**

主任牧師: イエス・キリスト

ダニエル&シオン



Siloam

2016年10月30日 No.917

(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

ルカの福音書 3:2~4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」 2 節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」 4 節



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>